

けんこうだより

今年も健康づくりをサポートします!

問い合わせ 健康づくり課 健康推進係 ☎933-0777

今年度も、各小学校区の担当保健師や管理栄養士が、皆さんの健康づくりを支援していきます。

妊婦さん(本人とお腹の中の赤ちゃん)から高齢者の方まで、皆さん1人ひとりが自分のからだを知り、正しい健康づくりができるよう、お手伝いをしていきます。お電話でのご相談なども随時お受けしていますので、お気軽にご連絡ください。

掲載内容の訂正について

広報うみ4月号「けんこうだより」に掲載しました「(B類疾病) 定期予防接種のご案内」のうち、「定期予防接種実施医療機関」の記載内容に誤りがありました。お詫びして下記のとおり訂正します。

【誤】

医療機関名	B型肝炎	水痘	日本脳炎	高齢者肺炎球菌
こやま内科クリニック	○	○	○	○

【正】

医療機関名	B型肝炎	水痘	日本脳炎	高齢者肺炎球菌
こやま内科クリニック				○

	宇美小学校	井野小学校	桜原小学校	宇美東小学校	原田小学校
保健師	 安川	 富山	 上宇都(かみうと)	 銘田(めいだ)	 松江
	 久保				 友住
管理栄養士	 若林		 古賀		

私たちが皆さんの健康づくりをサポートします!

はいちから 消費生活相談窓口です!

懸賞で当たった日帰りバス旅行で高額な商品を買うはめに

《相談事例》

よく利用している通販サイトから、「無料日帰りバスツアーに当選した」というパンフレットが送られてきたので、友人と参加した。最初に毛皮工場に立ち寄り、会議室のようなところで高額な毛皮製品を勧められた。いろいろな商品を試着した後に、再度、気に入った商品の試着を勧められ、購入してもよい雰囲気になり、約80万円の毛皮のコートをクレジットで契約した。その直後から後悔し、夜も眠れない。クーリング・オフして契約をやめたい。

《アドバイス》

スーパーマーケットや通信販売会社などの懸賞で当選し、無料または格安のバス旅行に参加したところ、途中で立ち寄った施設で高額な宝石や毛

皮製品などを勧められたという相談が寄せられています。

その場の雰囲気にもまれたり、旅という非日常の中で気分が高揚したりしてつい購入してしまうケースが見られます。冷静になり、本当に必要なものをよく考えましょう。必要なければきっぱりと断ることが大切です。

要件を満たせばクーリング・オフなどが出来る場合もあります。

困ったときは、下記窓口へご相談ください。(消費者ホットライン188)。

かすや中南部広域消費生活センター

- ▶開設日 月曜日～金曜日
- ※祝日・12月29日～1月3日は除く。
- ▶相談時間 10時～15時30分
- ※昼休みの時間も相談できるようになりました。
- ▶所在地 志免町地域安全安心センター2階(県道68号線大交差点横) ☎936-1594

宇美町消費生活相談窓口

- ▶開設日 水曜日
- ※祝日・12月29日～1月3日は除く。
- ※相談時間はセンターと同じ。☎934-2258

いきいき リサイクル情報

■ ゆずってください

- ベビーバウンサー(揺れるベビーチェア 状態良いもの希望)
- ロックミシン
- 町立保育園のプレザー・体操服上下(サイズ不問)
- 箏(何弦でも希望 多少の汚れや傷みがあっても可)

■ ゆずります

- すり鉢(直径27cm、あまり使用していないため状態良)
- 小学校赤白ぼうし(フリーサイズ・LLサイズ、あごひもの付け替え必要、LLサイズはシミ有)
- スクール用水着(女子用、ワンピースタイプ、Mサイズ、背中にゼッケン痕あり)
- 水槽(横幅120cm×高さ60cm×奥行50cm、一部防水修理必要、レイシーポンプ付)
- インクカートリッジ(6色パック、エプソン製IC6CL)
- ※プリンターの適合機種はホームページに掲載しています。
- トートバッグ(横31cm×縦33cm×マチ10cm、黒色と黄土色の革地に菖蒲の絵あり)
- ショルダー付ハンドバッグ(横28cm×縦25cm×マチ8cm、丸みがあり一部持ち手や底等が黒色の合成皮革に、花模様のえんじ色の布で構成 未使用)

申し込みできる方

▶ 町内在住者 (営利目的の方や団体を除く)

「ゆずってください」「ゆずります」掲載希望の方は、申込書に必要事項を記入のうえ、毎月25日までに環境課までお申し込みください。写真(画像データ)を提供いただければ、町ホームページに掲載いたします。申込書は、窓口で配布しているほか、町ホームページからもダウンロードできます。

なお、「ゆずります」の品の譲受けについて、申込者多数の場合は5月25日(金)締切り後に抽選を行い、5月31日(木)までに当選者に対してのみ電話で連絡します。

品物について詳しい情報が知りたい方は、環境課にお問い合わせください。

不要品を有効に活用して、資源の節約とごみの減量に取り組みましょう!

問い合わせ 環境課 環境衛生係 ☎934-2226 FAX 933-7512

●問い合わせ 環境課 環境衛生係 ☎934-2226

今年の2月5日は最低気温がマイナス2.5℃を記録するなど、寒い日が続いた冬でした。「こんなに寒いのかから地球温暖化なんて本当？」と思ったりもいるかと思いますが、1年の平均気温は毎年上がり続けています。地球が誕生して46億年と言われていますが、これまでに南北の極点が移ったり、海の底だったところが山の頂上になったりさまざまな変化がある中で、地中の石油や石炭を採り出し、燃料として消費して文明を進めてきたのは、ほんの200年程前から過ぎません。

現代は、室内の人工的環境を簡単に作り出せるようになりましたが、本当にこれでいいのでしょうか? 快適な環境を作り出すためにエネルギーを消費し、このために自然環境が壊れてしまう悪循環に、20年以上も前から世界中で「歯止めをかけよう!」と声高に叫ばれているにも拘らず、地球温暖化は進んでいます。私たちが恐れるべきは、成長期にある子どもたちに快適な環境について間違った教え方をしてしまうことではないでしょうか? あまり快適な環境ばかり追求するとそれ以外の暑い! 寒い! の不満ばかりが募り、適応調整能力が低下することが懸念されます。フランスの哲学者ミシェル・ド・モンテーニュは「我々は他人の知識によって物知りにはなれるが、賢くなるには我々自身の知恵によるしかない」との名言を遺しています。暑さ、寒さは知恵で乗り越えたいと思いませんか? ちなみに知識の話になりますが、福岡管区気象台には1890年1月からの気象データがあります。99年前の2月5日の最低気温はマイナス8.2℃だったそうです。

宇美町 エコトーク

文責 地球温暖化防止活動推進員 竹吉 栄隆